

県下の交通事故

(平成11年3月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成10年		1,266件	11人	1,618人
平成11年		1,317件	15人	1,737人
比較		+51件	+4人	+119人



◇ 第127号 ◇
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11
 〒400-0031 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 甲府 (055) 232-4682
 (055) 237-7827

推進事項

新入学児童・園児を交通事故から守る運動

4月1日(木)から
4月10日(土)まで

- 一 新入学児童・園児に対する交通安全教育の推進
- 二 街頭指導及び通学(園)路等の点検整備の推進
- 三 新入学児童・園児を交通事故から守る県民意識の醸成



親子で交通安全を学ぶ新入園児たち

春の全国交通安全運動

5月11日(火)～20日(木)まで

この運動は、慣れない通学(園)路を通い始める新入学児童・園児を交

この運動は、県民の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止を図ろうと、全国一斉に行われるものです。

このうち登下校の事故は、登校中九件、下校中十六件です。また、原因別では、歩行中が、急な飛び出し、駐停車車両の直前直後の横断、走行車両の直前直後の横断が圧倒的に多くなっています。自転車乗車中では、安全不確認、一時不停止、徐行違反などの順となっています。注意しましょう。



迎え、新入学児童や新しいスーツに身を包んだ新入社員などの姿が目

この運動は、県民の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止を図ろうと、全国一斉に行われるものです。

このうち登下校の事故は、登校中九件、下校中十六件です。また、原因別では、歩行中が、急な飛び出し、駐停車車両の直前直後の横断、走行車両の直前直後の横断が圧倒的に多くなっています。自転車乗車中では、安全不確認、一時不停止、徐行違反などの順となっています。注意しましょう。

交通事故減少のために

山梨県警察本部交通部長 窪田正英



新年度を迎え、新入学児童や新しいスーツに身を包んだ新入社員などの姿が目

この運動は、県民の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止を図ろうと、全国一斉に行われるものです。

このうち登下校の事故は、登校中九件、下校中十六件です。また、原因別では、歩行中が、急な飛び出し、駐停車車両の直前直後の横断、走行車両の直前直後の横断が圧倒的に多くなっています。自転車乗車中では、安全不確認、一時不停止、徐行違反などの順となっています。注意しましょう。



今年、統一地方選挙が施行されるため毎年四月に実施されていた「春の全国交通安全運動」が五月へ先送りされました。そのため四月一日から十日間「新入学児童・園児を交通事故から守る運動」が実施されます。

▼今年、統一地方選挙が施行されるため毎年四月に実施されていた「春の全国交通安全運動」が五月へ先送りされました。そのため四月一日から十日間「新入学児童・園児を交通事故から守る運動」が実施されます。

▼幼児・児童の交通事故による死者は、昭和四十四年以降、幼児は昭和四十六年の九人をピークとして、その後徐々に減少し、ここ数年は一ないし二人と大幅に減少しています。

▼しかし、発生件数と傷者数に目を転じてみれば、昨年は二百三十四件発生し、四百三十七人が負傷しており、その減少対策に一層の努力が望まれるとされています。

▼交通事故防止に特効薬はないと言われるとおり幼児・児童の交通事故防止にも特効薬はありませんが、右側通行をする、急な飛び出しはしない、等々の安全な行動が誰に言われなくてもとれる、すなわち「安全な行動の習慣化」が幼児・児童の事故防止の基本だと思います。

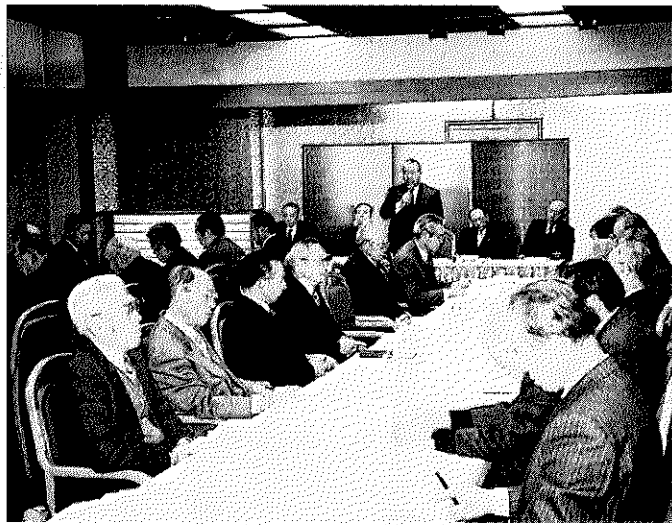
▼そのためには、一度に多くを教えようとせず、保護者等近くにいる者が安全な行動を一つずつ反復して教える、この積み重ねによって自然と習慣が身に付くのではないのでしょうか。

効果的な安全活動の推進

県安協理事・評議員合同会議開催

県交通安全協会は、三月二十九日、甲府市内の古名屋ホテルで理事・監事・評議員合同会議を開き、平成十一年度の事業計画(案)及び予算(案)を審議決定し、また、四月一日から十日までの十日間県独自の運動として実施することになった。

「新入児童・園児を交通事故から守る運動」及び五月実施となった「春の全国交通安全運動」の



県安協理事・監事・評議員合同会議

すめ方等を協議し、総力をあげて取り組むことをきめました。

会議では、志村会長が欠席したため、山下副会長が、「昨年は死者数を二桁に抑え込むことができなかった。依然として厳しい交通情勢が続いているが、今年こそは死者数二桁抑え込みを実現したい。各位は各種の交通安全活動に総力をあげて取り組んでほしい。そうした観点で平成十一年度の事業計画(案)と予算(案)を提出するの十分審議され、決定後は確実に実行願いたい」とあいさつし、続いて審議に入りました。

平成十一年度の事業計画(案)、予算(案)及び追放、被害者救済の六部の合同会議を開催しました。

県交通対策推進協議会(会長天野知事)は、二月十六日ニュー機山大ホールで、企画、交通安全、道路、交通安全、暴走族代理として有賀充二氏交通局長があいさつを行い、続いて県警交通部今

平成十一年度交通安全運動基本要綱決まる

山梨県交通安全対策推進協議会

会議には、約五十人が出席して盛況裡に開催され、初めに会長天野知事代理として有賀充二氏交通局長があいさつを行い、続いて県警交通部今

日問県下一斉に取り組むこととなった「新入児童・園児を交通事故から守る運動」また、統一地方選挙の関係で五月十一日から二十日までの十日間に先送りして実施することとなった「春の全国交通安全運動」の取り組みなどについて協議し、運動をすすめるにあたっては、「交通安全は、県民一人ひとりが主役」であることを自覚させるよう創意工夫をこらしていくことを確認して、それぞれ決定しました。

議事終了後、県警の春の人事異動で新たに交通部長に就任された、窪田正英警視正から「最近の交通情勢」について講話が行われ、熱心に聴講しました。

最後に去る三月十三日に日比谷公会堂で開催された第39回交通安全国民運動中央大会の席上で、交通安全栄誉章の金章を受賞された県安協理事宮川陸武、渡辺喜信の二氏及び銀章を受賞された小沢昭彦、湯山喜六、長田誠司の三氏に県安協から記念品を贈って栄誉を称えました。

安協だより

私たち南部交通安全協会では、交通事故のない安全で住みよい地域づくりに実施するために、地域に根ざした草の根的な諸対策を推進しています。

昨年は、南部警察署管内の交通事故による死者数を前年同数にまで減少させること

草の根諸対策の推進

南部安協会長 渡辺喜信

件数で二十件、死者数で二十二名と大幅に減少させることができました。

私たち南部安協が南部警察署等関係機関のご指導を受けながら一致団結し地道な活動の成果が着実に現れてきたものと白



効果は見当たりませんが、悲惨な交通事故を一件でも減少させるために、今後も南部警察署等関係機関のご指導を得ながら、地域の特性にあった活動を地道に推進していきたいと考えておりますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

福参事官が県内の交通情勢と交通安全活動の重点について説明しました。

このあと有賀充二氏交通局長が議長となって協議に入り、平成十一年度

運動の重点目標

- 一 高齢者と子供の交通事故防止
- 二 若者による無謀運転及び暴走族の追放
- 三 シートベルト着用徹底とチャイルドシートの着用推進
- 四 飲酒運転の絶滅

このような事業への取り組みが評価され、昨年十月に県安協から優秀賞を授与されるという栄誉を得ることができました。

交通事故防止に現在のところ特

- 夜間の交通事故防止
- 違法駐車等の締め出し
- 道路交通環境の整備
- 交通安全運動の名称と実施期間
- 新入児童・園児を交通事故から守る運動 四月一日～十日 (十日間)
- 春の連休時における交通安全対策 四月二十八日～五月五日 (八日間)
- 春の全国交通安全運動 五月十一日～二十日 (十日間)
- 夏の交通事故防止県民運動 七月二十一日～八月十日 (三十一日間)
- 秋の全国交通安全運動 九月二十一日～三十日 (十日間)
- 年末年始の交通事故防止県民運動 十二月十日～一月十日 (三十二日間)
- シートベルト着用徹底県民運動(年間を通じての運動)
- 交通安全一市町村運動(年間を通じての運動)

平成十一年度事業計画

平成十年度中の交通事故による県内の死者は、総力をあげて努力した結果百八人となり、前年より二人減少することはできたが、百人未満とする目標は三年連続して達成できませんでした。

本年は、さらに厳しさを増す交通環境の中で、人命の尊厳と交通安全の必要性を再認識し、交通事故を抑制して快適な交通環境を確立し、安全で住みよい社会実現のため県、県警察、関係機関団体と緊密な連携をはかり

ながら、活動重点を

- ①交通安全教育指針に基づき体系的な交通安全教育の推進、②歩行者、自転車利用者、特に高齢者と子供の交通事故防止の徹底、③シートベルト、チャイルドシート着用徹底、④飲酒運転追放活動の推進、⑤反射材着用の促進として次の諸事業を推進します。

一、各種交通安全教育の推進

二、交通安全啓発宣伝活動の推進

三、交通安全推進県民大会の開催

四、交通功労者(団体)優良運動者等の表彰

五、県安協創立三十周年記念事業の準備活動の推進

六、交通安全啓発宣伝活動の推進

七、二輪車・自転車の安全対策の推進

八、協賛事業



ニュー機山大ホールで開催された合同部会

★各車種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 **山梨自動車学校**
中巨摩郡八田村野牛島1828
(運転免許センター内)
TEL (055) 285-0752

快適な交通社会の確立を

～平成11年交通安全推進県民大会～

交通安全宣言を採択



交通安全推進県民大会開催状況

二月十五日、「平成十一年交通安全推進県民大会」が昭和町のアピオウエディングプラザ甲府、大ホールで開催されました。

この大会は、山梨県交通安全協会と山梨県交通安全活動推進センターの主催、山梨県、山梨県警察本部、関東運輸局山梨陸運支局等十八の機関団体の協賛によるもので第一部「式典」第二部「基調講演」第三部「アトラクション」の三部構成で約千二百人が出席して開かれました。

式典には、天野知事、白井県議会議長、長澤公安委員長、秋山警察本部長等多数のご来賓をお迎えし、厳粛かつ盛大に行われました。

交通安全宣言

平成十一年交通安全推進県民大会

平成十一年中の交通事故による山梨県内での死者は、県民あげて努力した結果百八人となり、前年より二人減少することはできたが、目標とした二桁台の達成はできなかった。また、発生件数及び傷者数は増加の一途をたどっており、依然として厳しい情勢が続いている。

- 一 交通安全教育指針に基づく体系的な交通安全教育の推進
- 二 歩行者、自転車利用者、特に高齢者と子供の交通事故防止の徹底
- 三 シートベルト、チャイルドシートの着用の徹底
- 四 飲酒運転追放活動の推進
- 五 反射材着用の推進

内交通情勢と交通安全活動の重点を解説し、「交通事故防止に何より必要なことは道路交通の場に参加する県民一人ひとりが、自らが交通安全の主役であるということ」を認識し、交通ルールやマナーを実践していただくことだと思ふ」と強調しました。

これを受けて、鶴田美枝山梨県交通安全母の会連合会長が「交通安全宣言(案)」を朗読、満場一致で採択されました。

また、第三部のアトラクションでは、加藤茶、小野ヤスシ氏等による「お笑いトークショー」が行われ、会場は終始明るく、盛り上がりを見せた。

はじめに交通事故犠牲者に対する黙祷を捧げ、続いて山下道男県安協副会長があいさつしたのち米賀祝辞が行われ、引き続き、県警窪田正英交通部長が、「昨年の県内の交通事故による死者は百八人で前年を二人下回ったものの、第六次山梨県交通安全基本計画に掲げた平成十二年までに九割削減を達成できなかった」と述べたあと、今年の県民交通安全宣言を述べた。

交通安全教育は、毎日子供と行動をとる親が、日常生活の中で必要な内容を反復して教えることが最も効果的である。また、子供の一生を通じて、身の回りにある交通信号機、歩行者の横断歩道、近づく横断歩道を無視し、走行する

親の幼児交通安全教育

交通安全教育は、毎日子供と行動をとる親が、日常生活の中で必要な内容を反復して教えることが最も効果的である。また、子供の一生を通じて、身の回りにある交通信号機、歩行者の横断歩道、近づく横断歩道を無視し、走行する

交通安全教育は、毎日子供と行動をとる親が、日常生活の中で必要な内容を反復して教えることが最も効果的である。また、子供の一生を通じて、身の回りにある交通信号機、歩行者の横断歩道、近づく横断歩道を無視し、走行する

交通安全教育は、毎日子供と行動をとる親が、日常生活の中で必要な内容を反復して教えることが最も効果的である。また、子供の一生を通じて、身の回りにある交通信号機、歩行者の横断歩道、近づく横断歩道を無視し、走行する

828チームが目標達成

チャレンジ200作戦

行われ、会場は終始明るい雰囲気の中にも、交通安全活動の重点を解説し、「交通事故防止に何より必要なことは道路交通の場に参加する県民一人ひとりが、自らが交通安全の主役であるということ」を認識し、交通ルールやマナーを実践していただくことだと思ふ」と強調しました。

交通安全推進協議会(天野建会長)主催、県警察、県交通安全協会等が協賛する「チャレンジ200作戦」が、二月十八日、市文化ホールで行われ、無事故、無違反を達成した八百名が参加しました。

交通安全推進協議会(天野建会長)主催、県警察、県交通安全協会等が協賛する「チャレンジ200作戦」が、二月十八日、市文化ホールで行われ、無事故、無違反を達成した八百名が参加しました。

交通安全推進協議会(天野建会長)主催、県警察、県交通安全協会等が協賛する「チャレンジ200作戦」が、二月十八日、市文化ホールで行われ、無事故、無違反を達成した八百名が参加しました。



市文化ホールで開催された表彰式

表彰式では、無事故、無違反を達成した八百二十八チーム(八千二百八十八人)が表彰され、代表者に有賀リニア交通局長から表彰状と記念品が贈られました。

参加チームの内訳は、会社員千六百七十七チーム(八七・四%)、公務員百八十八チーム(一一・七%)、団体職員等百四十四チーム(八・八%)の順になりました。

また、達成率のよいチームの順では、公務員チーム六八・三%、知人・友人チーム五九・二%、団体職員チーム五六・四%、会社員チーム五〇・%となつています。

また、達成率のよいチームの順では、公務員チーム六八・三%、知人・友人チーム五九・二%、団体職員チーム五六・四%、会社員チーム五〇・%となつています。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車損害保険を付けてください。

損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL055-228-0691

表彰式終了後、主催者が用意した、一等旅行券三十万円(三万円×十人分)、二等旅行券泊券十五万円(一万五千元×十人分)、三等商品券十万円(一万円×十人分)、その他カラオケ、折りたたみ自転車等九十点の賞品の抽選会が行われ、抽選の発表があるたびに参加者の間から大きな歓声が上がり、会場は熱気に包まれ、無事故、無違反を達成した喜びにひたっていました。

各地でブロック研修会

県内の交通安全協会では、交通情勢や交通法令の習熟及び地域に根ざしたより有効な交通安全活動を行うための意見交換等の場として、毎年数回開催されているブロック研修会を開催し、成果をあげています。

○郡内ブロック研修会

都留、富士吉田、大月、上野原の四交通安全協会が構成する「交通安全協会郡内ブロック研修会」は、三月五日都留市内のアピオで開催されました。研修会へは、講師・助言者の立場で県警交通部今福参事官、県安協奈良署長以下、都留、富士吉田、大月、上野原の四



郡内ブロック会議 (アピオ都留)

田専務理事らが出席、地元警察署から小林都留警察署長、樋川富士吉田警察署長、田草川大月警察署長、武井上野原警察署長以下、都留、富士吉田、大月、上野原の四交通安全協会が構成する「交通安全協会郡内ブロック研修会」は、三月五日都留市内のアピオで開催されました。研修会へは、講師・助言者の立場で県警交通部今福参事官、県安協奈良署長以下、都留、富士吉田、大月、上野原の四交通安全協会が構成する「交通安全協会郡内ブロック研修会」は、三月五日都留市内のアピオで開催されました。

たのち、各交通安全協会から平成十年中の活動状況及び交通事故防止にどう寄与することができたかなどについて発表がありました。続いて県警交通部今福参事官が平成十年中の県内の交通事故情勢を踏まえて、今後の交通事故防止活動の重点について説明したのち「交通事故を減少させるため、交通関係団体の中核である交通安全協会の一層の活躍を期待している」と奮起をうながしました。また県安協からは、「交通安全協会による交通安全活動のすすめ方」について具体例をあげて説明しました。このあと活発な意見交換が行われ、

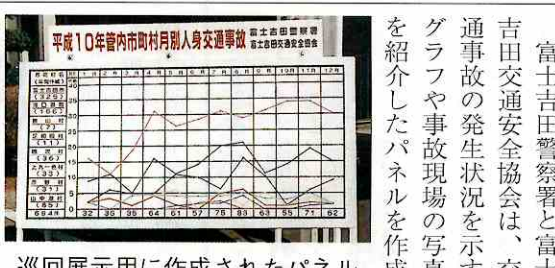
○峡南ブロック研修会

峡南、市川、南部の三交通安全協会が構成される「交通安全協会峡南ブロック研修会」は、三月十八日青柳町内のいち柳ホテルで開催されました。研修会へは、県警窪田交通部長、県安協奈良田専務が出席、また地元からは峡南の三警察署長以下交通安全協会正副会長ら四十人が出席し、県内の交通情勢と交通安全活動のすすめ方などについて意見を交わしました。

れ、研修会は極めて有意義なものとなりました。交通安全協会が構成される「交通安全協会峡南ブロック研修会」は、三月十八日青柳町内のいち柳ホテルで開催されました。研修会へは、県警窪田交通部長、県安協奈良田専務が出席、また地元からは峡南の三警察署長以下交通安全協会正副会長ら四十人が出席し、県内の交通情勢と交通安全活動のすすめ方などについて意見を交わしました。

交通安全統計・写真を市町村役場へ展示

富士吉田警察署と富士吉田交通安全協会は、交通事故の発生状況を示すグラフや事故現場の写真を紹介したパネルを作成し、市町村役場へ展示しています。展示は、三月から管内の市町村役場などに巡回展示されています。これまでは、警察署などに展示していましたが、より多くの人の目に触れる場所に展示し、身近なところでどのくらい交通事故が発生しているのかを知ってもらい、交通安全意識の高揚に役立てたいとする試みからはじめたものです。



中央自動車道や幹線道路で発生した事故で、車がめっちゃめっちゃつぶれてる場面やレスキュー隊の救助場面などの現場写真八枚が掲示されています。富士吉田安協では年間の事故発生件数が多い市町村から二箇月づつ巡回して展示していくこととしています。

◆一般運転者向け

「なぜあの時」
16ミリ・VHSカラー
16分
「こぎつねの交通安全」
16ミリ・VHSカラー
16分

◆高齢者向け

「大岡越前のお年寄りの交通安全」
16ミリ・VHSカラー
30分

高年齢者交通安全教室の開催

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、下部町古閑小体育館で、高年齢者を対象とした交通安全教室を開きました。この交通安全教室は、県警が交通安全死亡事故減少対策を実施している「チャレンジ99甲斐路作戦」及び「七万人署名交通安全の輪大作戦」の一環として、古閑地区に住む高年齢者約七十人が参加して行われ、参加者は、高齢者が関係した交通事故事例をもとにした事故防止策や自動車の制動距離と横断の関係について、ひもを使い実際に体験しました。

「TSマーク貼り増し運動」実施

自転車事故を防ぐためには、正しく点検・整備された自転車に、ルールとマナーを守って乗ることが大切です。点検整備された自転車の印が「TSマーク」です。TSマークには「第一種(青色)」と「第二種(赤色)」があり、それぞれ一年間有効の賠償責任・傷害保険が付いています。そのため、万一時の場合に

入院見舞金など補償されますが、その内容は表のとおりです。四月一日から全国一斉に「TSマーク貼り増し運動」が実施されますので、山梨県自転車軽自動車商協同組合傘下の販売店とスーパ・量販店がタイアップして実施中です。詳細については、自転車安全整備店の看板のある店にお尋ね下さい。

地区だより

チャイルドシートの無料貸出し

大月交通安全協会(山下道男会長)では、貸出し用チャイルドシート三基を用意し、昨年十二月二十四日からチャイルドシートの無料貸出しを行っています。



チャイルドシートの貸出しコーナー設置状況

この無料貸出しは、交通事故の際、乗車している子供の被害を軽減することと、チャイルドシートの正しい着装と普及を図ることを目的として実施しているものです。貸出しの条件は、原則として大月市に居住する人であること、貸出し期間は最長一週間とする。

安心して運転ができる」と好評です。大月交通安全協会では今後多くの人々の利用を呼びかけていきたいとして、チャイルドシート着用の普及に力を入れています。チャイルドシートについては、着用を義務づける法案が国会へ提出されており、法案が成立すれば六歳以下の幼児を自動車に乗せる時はチャイルドシートの着用が義務づけられることになりま



まちかど交通安全教室開催状況

まちかど交通安全教室は、協働人員が、ゲートボール場や公園など高齢者が集まる場所に出向き、反射材着用の効果を中心に身近な交通安全について説明するもので、高齢者からは「これまでの交通教室は、学校とか、公民館などに行かなくてはならなかったが、このように自分達がいる場所へ

また、教室終了後、「七万人交通安全の輪大作戦」として、参加者のうち七十五歳以上の二十二人が交通安全を誓う署名に協力しました。

「なぜあの時」
16ミリ・VHSカラー
16分
「こぎつねの交通安全」
16ミリ・VHSカラー
16分

「大岡越前のお年寄りの交通安全」
16ミリ・VHSカラー
30分

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

貸出しを開始してからすでに十三人の利用があり、利用者からは、「チャイルドシートをしていれば子供が乗っていても

TSマーク区分	第1種 (青マーク)	第2種 (赤マーク)
死亡・重度障害 (1級~4級)	一律 30万円	一律100万円
入院 15日以上	一律 1万円	一律 10万円
賠償責任 (限度額)	500万円	1,000万円



第二種TSマーク 第一種TSマーク 自転車安全整備店の章